

令和2年12月14日
仙台管区気象台

仙台で初雪を観測

12月13日に、仙台管区気象台で初雪を観測しました。

平年より 19日遅く（平年は、11月24日）、

昨年より 22日遅い（昨年は、11月21日）観測です。

参考資料

1. 初雪とは

寒候期（秋から春に至る期間）の中で季節的な大気現象としての雪（みぞれ、霧雪、ふぶき、細氷を含む）があった最初の日を言います。

2. 雪とは

空気中の水蒸気が昇華してできた氷の結晶の降水。雪の降り方、大きさ、結晶は雪が成長・形成される過程での状況により、かなり変化する。

3. これまでの観測記録

仙台管区気象台では1926年から観測を行っており、これまでの一番早い記録、一番遅い記録は以下の通りです。

一番早い記録（最早）：1995年11月 8日（平成7年）

一番遅い記録（最晩）：1927年12月19日（昭和2年）

4. 観測方法

観測は目視によって行い、「日」を単位としています。

本件に関する問い合わせ先観測課 平日 08:30-17:15 Tel 022-297-8106

Fax 022-291-5895